

# WEBシラバスの見方

授業科目名	
授業科目名(英字)	
必修・選択	
開講セメスター	
ナンバリングコード	<b>【ナンバリングコード】</b> 本学で定めたルールに基づき、授業科目に番号を割り付けています。
単位数	<b>【単位数】</b> 当該授業科目を履修し、試験に合格した場合に得られる単位数を示しています。
担当教員	<b>【担当教員】</b> 当該授業科目の計画や成績のとりまとめを主に担当する教員名を示しています。
副担当教員	
実務経験のある教員等による授業科目に該当	

**【必修・選択必修・選択・自由】**

- ・必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目の区分があります。
- ・必修科目は、卒業又は修了するために必ず単位を修得しなければならない科目です。
- ・選択必修科目は、自由選択によって履修でき、指定された区分・領域の中から所要の単位を修得しなければならない科目です。
- ・選択科目は、自由選択によって履修できますが、卒業又は修了するためには、一定の範囲の中から所要の単位を修得しなければならない科目です。
- ・自由科目は、自由選択によって履修できますが、卒業要件には含まれない科目です。

**【開講セメスター】**

開講セメスターは、当該授業科目を開講する時期を示しており、各年次の前期が奇数(1、3、5、7)セメスター、後期が偶数(2、4、6、8)セメスターとして区分されています。

原則として1年次の学生には、第1・第2セメスター、2年次の学生には第3・第4セメスター、3年次の学生には第5・第6セメスター、4年次の学生には第7・第8セメスターの授業が開講されます。学部開講科目には「学部」、大学院開講科目には「院前」「院後」と表示しています。

**【副担当教員】**

当該授業科目の副担当教員を示しています。副担当教員が多数いる場合は、授業の計画欄に記載しています。

**【実務経験のある教員等による授業科目に該当】**

実務経験のある教員が、その経験を授業にどのように活かしているか記載しています。

授業の目標	<b>【授業の目標】</b> 担当教員が当該授業科目をどのような目的やねらいをもって開講しているか、履修するとどのような成果が得られるかなどを示しています。
到達目標	<b>【到達目標】</b> 授業を通して最低限身に付けるべき資質・能力を示しています。
身につく能力	
授業の概要	
授業の計画	
授業時間外学修の指示	
成績評価の方法	<b>【成績評価の方法】</b> どのようにして成績が評価されるかを示しています。
テキスト・参考書等	
履修上の留意点	<b>【履修上の留意点】</b> 当該授業科目を履修するにあたり、あらかじめ履修しておくことが望ましい授業科目など、留意すべき事柄がある場合にその留意点を示しています。
資料	<b>【資料】</b> 添付資料がある場合はここをクリックすることで表示されます。
備考	
OH	<b>【OH】</b> 主担当教員のオフィスパワーの時間を記載しています。
TP	

**【身につく能力】**

令和3年度に改正した全学ディプロマ・ポリシー(学部6項目、大学院前期5項目)のうち、この授業科目の単位を習得することでどの能力が身につくかを示しています。

**【授業の概要】**

授業の概要を示しています。

※選択科目については、各自の目標、関心にあった授業科目であるかどうかを知り、選択の助けとすることができます。

**【授業の計画】**

授業で取り上げる項目、各週あるいは数週ずつをまとめた授業の計画や分担する教員名などを示しています。

※選択科目については、各自の目標、関心にあった授業科目であるかどうかを知り、選択の助けとすることができます。

**【授業外学修の指示】**

授業の事前学修・事後学修について示しています。

※文部科学省の定めに基づき、学生の皆さんは、1回あたりの講義の倍以上の時間を使って事前及び事後学修を行う義務があります。宿題・レポートの有無に関わらず、自律学修に取り組んでください。

**【テキスト・参考書等】**

授業に必要なテキスト(教科書)、参考書等を示しています。

テキスト(教科書)は、授業時に必ず携帯すべきものです。

参考書等は、授業内容をより深く理解するために役立つものです。個人で購入してもよいですが、図書館で読むこともできます。

**【TP(ティーチング・ポートフォリオ)】**

各先生が担当講義の内容や、講義を通して学生のみなさんに学んで欲しいこと・成長してほしいことを記したものです。リンクをクリックすることで、ティーチング・ポートフォリオを参照できます。

※学外からアクセスしている場合は、TPは表示されません。